

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	原価計算論B (Cost Accounting B)		
ナンバリングコード	E20605	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 会計ファイナンス
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E043551	クラス名	-
担当教員名	工藤 順一		
履修上の注意、履修条件	受講にあたって前提条件となる知識は特にありません。授業は、できるだけ毎回出席してください(欠席すると講義が理解できなくなる恐れがあります)。電卓も持参してください。授業時の座席はこちらで指定します。なお、前のほうを希望される方は、前3列は開けていますので自由におかけください。		
教科書	TAC簿記検定講座著『合格テキスト日商簿記2級工業簿記』TAC出版		
参考文献及び指定図書	随時紹介します。		
関連科目	簿記入門、管理会計論、監査論 原価計算論A		

○基本情報							
授業の目的	原価計算論Bでは、原価計算論Aの授業を受けて、総合原価計算を学習します。皆さんが就職を希望している自動車産業や食品産業等の大手の製造業では、この総合原価計算を採用しています。将来の就職を意識して、その時に備えるつもりでこの原価計算に取り組んでみてください。同じ規格の製品を連続して大量に生産する「総合原価計算」では、製品の原価は個別に計算せず、1ヶ月ごとにまとめて計算します。そこで、総合原価計算では、1ヶ月間に製品を生産するのに要した製造原価をまとめて計算し、1ヶ月間の生産量で割ることによって製品1個当たりの原価を計算します。本講義では、「大量見込生産」を行う工企業において用いられる原価の計算方法を学び、それらの原価(コスト)を下げるにはどうしたらよいのか等を理解していただけるようにしたいと考えています。						
授業の概要	授業は、テキスト、レジュメを中心に進めます。また、次回の授業の最初に、復習の意味で、前回講義の練習問題を解いていただく形で進めていきます。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「PBL(課題解決型学習)」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習等形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
(1) 授業の形式	「演習等形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」						
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目						
実務経験のある教員による授業科目	工藤順一氏は、大分県内の100社以上の大分県の経営革新計画の事業計画書作成を支援してきました。また、シニアIMとして多くの企業の創業支援実績あり。多くの企業の事業計画書作成等に携わってきた経験を、皆さんの専門的・実践的な知識の習得に生かしたいと考えます。授業では、原価計算の一つ一つの問題を説明する中で、理論と実践との共通点や異なる点を説明したいと考えます。また、利益を上げるために、いかにしてコストを下げるか等、皆さんにわかりやすく説明することで、学生の皆さんが、原価計算を理論的かつ実践的に理解できることと思います。						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	大企業に勤めている会社員から「上司から原価を下げろといわれるが、どうしたらいいかわからない」という相談がありました。原価がわからないと、コスト削減はできません。まず原価への関心を持ちましょう。	10点	10点	10点
【知識・理解】	次に、総合原価とは何か、どうやって計算するのか、といった基礎的な知識を身につけ、理解しましょう。そのためには、基礎的な用語に慣れ、理解することです。	20点		
【技能・表現・コミュニケーション】	大企業の方であれば、原価を元に、いくつかのコスト削減策を作成しましょう。種々の図や公式を理解し、使えるようにしましょう。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	最後に、適正な利益を入れた、「コスト削減計画書」を上司に提示し、説明し、原価が下がるようにしましょう。できれば、日商簿記検定2級の工業簿記に挑戦しましょう。	10点	10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
授業中に出す課題レポート等により授業への取り組み姿勢や意欲を評価します。レポートは、テーマに沿って、自分の言葉で書いてください。量と質の両面から評価します。提出していただいたレポートは、次の授業の際に、講評や追加コメントをいたします。期末試験により基礎的な知識の習得を評価します。達成水準の目安は以下の通りです。Sレベル: 達成目標を満たしている。Aレベル: ほぼ満たしている。Bレベル: なんとか満たしている。Cレベル: 一部分満たしている。なお、期末試験は、授業の中で学んだ内容について、幅広く出す予定ですので、14回目の授業の中で、期末試験についても説明しますので、必ず出席してください。

○その他
(この欄は空欄です)

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	原価計算論B (Cost Accounting B) 工藤 順一	授業コード	E043551
学修内容				
1. 総合原価計算の定義 個別受注生産形態の企業について適用される個別原価計算に対して、大量生産の企業に適用される原価計算が総合原価計算になります。二つを比較して学習します。				
予習	個別原価と総合原価の違いについて、予習してきましょう			約2時間
復習	総合原価計算について、メリットとデメリットを確認しておきましょう。			約2時間
2. 単純総合原価計算の計算 総合原価計算のうち、1種類の製品を連続して大量に生産する企業を前提にそれらの企業が採用している原価計算方法である「単純総合原価計算」について学習します。				
予習	単純総合原価計算とはどのような原価計算なのか、調べてきましょう。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
3. 月末仕掛品原価と完成品原価の計算 総合原価計算のうち、先入先出し法では、月末仕掛品が存在する場合、先に月末仕掛品原価を計算し、これを当月製造費用から差し引いて、残額を完成品原価とします。このため月末仕掛品原価の計算が重要です。				
予習	月末仕掛品が存在する場合、先に月末仕掛品原価を計算する理由を調べてきましょう。			約2時間
復習	期末仕掛品原価の練習問題を解いてみてください。解答は次回の授業で説明します。			約2時間
4. 月末仕掛品原価の計算(1) 月末仕掛品の評価について、直接材料費と加工費に分けて計算します。加工費においては、仕上がり具合につき進捗(しんちよく)度、完成品換算数量という考え方を学習します。月末仕掛品がある場合の消費単価の計算方法について、平均法、先入先出法を学習します。2つの計算方法の違いがどのように原価に影響するかを見ていきます。				
予習	直接材料費と加工費とに分ける理由について調べてきてください。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
5. 仕損・減損 製品の加工中に原材料の一部が蒸発・粉散・ガス化・煙化などの原因によって消してしまふことがあります。その場合の、減損費の計算を行います。同様に、製品が規格を満たさない不合格品が出る場合もあります。これが仕損です。これらの仕損品の計算も行います。				
予習	原価とは使ったお金の集積ですが、減損等は原価に含まれるかどうか調べてきましょう。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
6. 工程別総合原価計算 企業のよっては、製品の製造を2つ以上の工程によっ行う場合があります。その工程ごとに原価を計算する方法(工程別総合原価計算)についてみていきます。				
予習	工程別原価計算の工程がどうして発生するのかを調べてきましょう。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
7. 組別総合原価計算 同一工場内で種類の異なる2種類以上の製品を連続して大量に生産する企業で用いられる、組別総合原価計算について学習します。				
予習	工場の中で組別に製造する製品はどのようなものかを調べてきましょう。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
8. 等級別総合原価計算 等級別総合原価計算とは、たとえば、TシャツのようにS、M、Lといったサイズが異なる製品を連続して大量に生産する企業で用いられている総合原価計算です。等価係数について学習します。				
予習	等級製品について、あなたまわりの製品の中から調べてきてください。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	原価計算論B (Cost Accounting B) 工藤 順一	授業コード	E043551
学修内容				
9. 標準原価計算 標準原価計算について学習していきます。標準原価計算は、伝統的に原価管理の1手法として考えられてきました。				
予習	標準原価と目標原価の違いを調べてきてください。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
10. 標準原価計算(2) 標準原価計算の説明をした後で、次に、差異分析の具体的な計算方法を学習していきます。具体的には、直接材料費、直接労務費に関して差異分析を行います。				
予習	標準原価との差異はどのように製造原価報告書に載るかを調べてきてください。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
11. 直接原価計算(1) 直接原価計算は、短期利益計画目的において、利用される原価計算です。これは、原価を変動費と固定費とに区分して、売上高から変動費だけを差し引いて計算した限界利益を算定します。				
予習	固定費と変動費とはどのような基準で分かれるのかを調べてきましょう。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
12. 直接原価計算(2) 直接原価計算の応用として、CVP分析を行います。CVP分析により、費用(C)と売上高(V)と利益(P)の関係を見ていきます。特に損益分岐点について学習します。				
予習	CVP分析のC、V、Pの意味するところを調べてきましょう。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
13. 原価の固定分解 高低点法 高低点法とは、過去の実績データのうち、操業度が最も高い点と最も低い点に着目し、その両者間の原価の動きを直線とみなして変動費率(操業度1単位あたりの変動費)と固定費を計算する方法です。高低点法は生産量の増減と原価の発生を、1次方程式($y = ax + b$)に関連づけて変動費と固定費を区分する手法である。				
予習	1次方程式($y = ax + b$)の解き方について、予習してきてください。			約2時間
復習	高低点法の問題を解いてみましょう。			約2時間
14. 工業簿記の勘定連絡図と財務諸表 工企業が会計年度末において外部報告用に作成する財務諸表について学習します。それぞれの表のつながりをしっかり学びましょう。				
予習	財務諸表論のテキストをひらいて損益計算書と貸借対照表の役割を調べてきましょう。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
15. 総括演習 これまでの授業について、総括的な演習問題を解きながら問題点を洗い出します。また、期末試験の試験対象や問題の出方について説明します。				
予習	これまで配布したレジュメをまとめて持ってきてください。			約2時間
復習	練習問題を出しますので、解いてきてください。解答は次回の授業の中で説明します。			約2時間
16. 期末試験 すべての講義に関して総復習の意味でのテストを行います。計算機を持ち込みはOKです。				
予習	期末試験の試験範囲について、練習問題を確認しておきましょう。			約2時間
復習	試験で間違った問題について、再度解答方法を確認しておきましょう。			約2時間